

## 市救援物資支援センターより

# 皆さんありがとうございました

市民の皆さん、物資を提供して下さった皆さん、そしてボランティアの皆さん、長い間、様々なご協力・ご支援ありがとうございました。

4月5日に開所してから9月30日に閉所するまで、約半年間の開設ではありましたが、地震と津波、そして原発被害の被災地から避難されてきた方々に、生活支援の一助にと物資の提供を続けることができました。皆さんのご協力のおかげで市救援物資支援センターとしての役割を果たすことができました。ありがとうございました。

### 支援センターの活動状況（9月30日）

協力ボランティア 延べ人数 1,377人  
物資受入 延べ件数 851件（市外185件含む）  
物資払出 延べ世帯数 588世帯



市救援物資支援センター閉所式であいさつする  
ボランティアリーダーの大竹茂さん

### 主な物資受入状況（9月30日）

- |                                       |          |
|---------------------------------------|----------|
| 1. 米（※）                               | 3,920 kg |
| 2. 水、お茶などペットボトル                       | 1,900本   |
| 3. カップ麺、缶詰などの食料品                      | 6,340点   |
| 4. 調味料                                | 1,080点   |
| 5. 衣類                                 | 5,590点   |
| 6. タオル・シーツ類 ダンボール箱                    | 130箱     |
| 7. ボックスティッシュ・洗剤、シャンプー、リンス<br>などの日用品雑貨 | 4,600点   |
| 8. 食器類                                | 1,020点   |
| 9. 家電品                                | 120点     |
| 10. その他                               | 1,620点   |

（※）米については、7月29日（金）に約1,000kgを南相馬市に送りました。

なんと1000人 いっぱいの笑顔が待っていてくれました

## 福島県いわき市の仮設住宅で、笛吹市民の善意を配りました



物資が配布される様子＝いわき市の仮設住宅

10月29日、市救援物資支援センターに残されていた衣類を中心に、食器などを加えた物資が、笛吹市内の避難者、市救援物資支援センターのボランティアおよび市社会福祉協議会などの協働により、福島県いわき市四倉に運ばれ、現地の被災者の方々に配布されました。ここでは、実際に現地に訪れて物資を配布された市救援物資支援センターのボランティアによるレポートを紹介します。

笛吹市から15人が参加。現地ボランティアの協力があって、正午前には広場に物資が並んだ。

午後2時から配布するとPRしてあるのに正午前から列をなす。午後1時30分に約400人、その後も増え続ける。「1回に30人ずつで10分間だけにしてね！」など、この日のルールを事前に伝え歩く。ほとんどの人が笑顔で了解の様子。できるだけたくさんの人に物資が行き渡るよう協力をお願いした。袋いっぱいの衣類や食器類、お米も抱えてニコニコ笑顔で会場を後にする人たち。おかげで会場内での混乱はない。午後3時から山梨名物の“ほうとう”を振る舞う（300人分）。皆さん「おいしいよ～！」と食べてくれた。やっぱりやってみて良かった。一部の報道では「もう物は足りている」と言われているけれど、現地ではまだまだ。特に新たに仮設住宅に移るには、鍋や茶碗や皿も要る。寒さに向かって冬物の衣類や寝具も欲しい。数日前からPRのチラシを現地のボランティアさんに配ってもらったこともあって、近隣の仮設住宅からもたくさんの“来客”あり。来場者は約1000人、好天にも恵まれ大成功。改めて笛吹市民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

# 支援金のご協力ありがとうございました

市は、笛吹市内に避難している方々へ、不足する物資や生活に関する様々な援助などを目的に、皆さんからの浄財を「支援金」として募ってきました。その状況は10月31日現在の累計で3,664,418円となります。福島県における緊急時避難区域が解除され、避難者の方々も仮設住宅入居など、復興・自立に向けた一歩をふみ出しています。支援金につきましては、11月末をもってその募金を終了し、残金を避難者の方に分配させていただくことにしましたのでご理解いただきますようお願いいたします。あわせて、ご支援いただきました皆さんに感謝を申し上げます。

なお、義援金につきましては、日本赤十字社が、その受付を来年3月31日まで延長することを決定しました。

## 東日本大震災義援金の募集期間の延長について

▼義援金名称 「東日本大震災義援金」

▼募集期限 平成24年3月31日(土)まで ※当初は平成23年9月30日まで

▼受入窓口 ○日本赤十字社山梨県支部(持参の場合) 甲府市池田1丁目6番地1号

午前8時45分～午後5時30分 土、日、祝祭日を除く

○郵便局 口座番号「00140-8-507」 口座名義「日本赤十字社」 ※手数料無料

○山梨中央銀行 普通口座 下飯田支店「80179」 口座名義 「日本赤十字社山梨県支部」

※手数料無料(本・支店窓口にて専用振込用紙使用のこと)

○甲府信用金庫 普通口座 本店「0448543」 口座名義「日本赤十字社山梨県支部」

※手数料無料(本・支店窓口にて専用振込用紙使用のこと)

### 連絡先の変更

市災害支援対策本部の連絡先が変更されました。電話の際は、お手数ですが、「災害支援対策本部に」と電話交換の担当にお伝えください。

☎055 (262) 5211 (直通)



☎055 (262) 4111 (代表)

内線番号 280・281

## 義援金をありがとうございます

▼義援金(10月31日現在) 9,159,323円

※義援金につきましては、日赤等を通じ被災地へ届けさせていただきます。

今後につきましても、市民の皆様の温かいご支援をお願いします。

■問合せ先 福祉総務課(石和保健福祉センター内) ☎055 (262) 1271

## 市営住宅・民家等への避難者状況(11月15日現在)

石和町	18世帯	49人	御坂町	3世帯	7人	一宮町	2世帯	5人
八代町	11世帯	24人	境川町	0世帯	0人	春日居町	13世帯	41人
合計 47世帯 126人(主に福島県南相馬市、いわき市、双葉郡内などの方を受け入れています)								

■問合せ先 市災害支援対策本部 ☎055 (262) 4111 (代表)

## 官民協働の支援プロジェクトに参加

東日本大震災の発生から7ヵ月以上経過した現在も県内避難者に支援が必要なことに変わりはなく、その支援する内容も多岐にわたっています。今後も、より継続的で個別的事情に配慮した支援を行うために、官民協働で支えあう仕組みとして、山梨福島県人会などの県内5つの民間団体と山梨県などを構成団体とした官民協働の支援プロジェクト「東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会」が立ち上がりました。市にも、多くの避難者が居住し、様々な関係団体と協働した支援が実施されていることから、この新たな避難者支援プロジェクトに協力することになりました。避難者支援プロジェクトで行われる主な事業は次のとおりです。

○県内在住の避難者を総合的に支援するため、全県的な連携組織を立ち上げる。

○避難者の要望を、様々な関係団体の協力のもとで把握する。

○支援を必要とする当事者からの了解を得て、被支援者情報を記した台帳(データベース)を整備する。

このほかにも、支援者が一対一で対象者を担当する体制を配備するなど、より個々の事情に配慮しながら避難者を支援することとしています。

■問合せ先 東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会 ☎055 (244) 3033

●発行/2011.11.20 山梨県笛吹市役所 ●編集/経営企画課・広聴広報担当

●所在地/〒406-8510 笛吹市石和町市部777番地 TEL 055-262-4111

●URL/<http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>